

# 箕面ビジターセンターだより

～明治の森箕面国定公園の自然と生き物～

春の特集号  
(4月・5月・6月号)

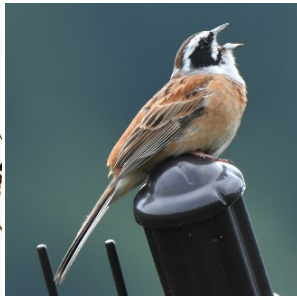
明治の森箕面国定公園は四季折々に多様な生物がみられます。このパンフレットは国定公園に生息する生き物たちと、彼らの暮らしを紹介しています。

## 春の森でさえずる鳥たち

木々が芽吹き、虫たちの活動が始まると、春から夏にかけて箕面の森で子育てをする鳥たちがパートナーを見つけるために美しく、力強くさえずります。森の中はとても賑やかになります。



ウグイス



ホオジロ



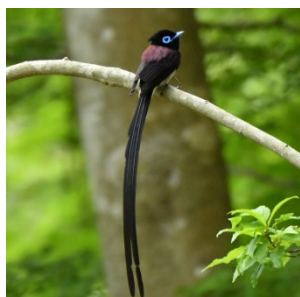
キビタキ



オオルリ



センダイムシクイ



サンコウチョウ



イカル



メジロ



ヤマガラ



シジュウカラ

オスからメスへ虫を「プレゼント」する求愛給餌行動がみられます。ヤマガラ(左)とオオルリ(右)



つがいが成立すると、ペアで協力して子育てをします。交代で卵を抱いたり、食べものを運んだりします。ヒナが大きくなり、巣から離れても、自力で食べものをとることができるようになるまで続きます。



メジロ



コゲラ



カワラヒワ



キセキレイ

**野生のサクラ** 箕面の山では、様々な種類の野生のサクラを見ることができます。エドヒガンから開花がはじまり、順に咲いていくので、長くお花見を楽しむことができます。



エドヒガン（大日駐車場）



ヤマザクラ



カスミザクラ



ウワミズザクラ



イヌザクラ

**いろいろなスミレ** 春の柔らかな日差しを受ける地面ではスミレも開花します。スミレも多様性に富んでいて、淡い紫のもの、濃い紫のもの、白っぽいものから少しピンクがかったものまで、様々な種類が観察できます。



ナガバタチツボスミレ



タチツボスミレ



スミレ



フモトスミレ



ヒメスミレ



コスミレ



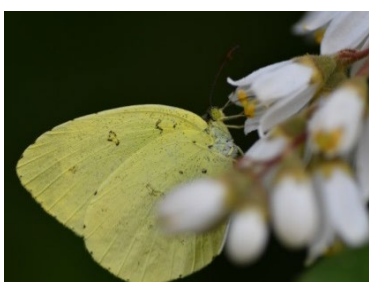
シハイスミレ



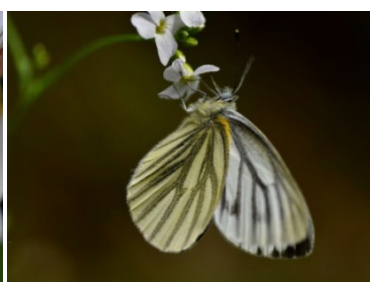
ツボスミレ

**春に見られるチョウ**

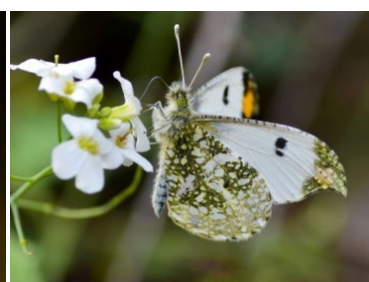
暖かくなると、チョウたちも花を訪れて飛び始めます。1年に何回も発生するチョウは春から秋ごろまで見ることができますが、ツマキチョウは春先に1回しか成虫が発生しないので、成虫で飛んでいる姿が見られるのはこの時期だけです。



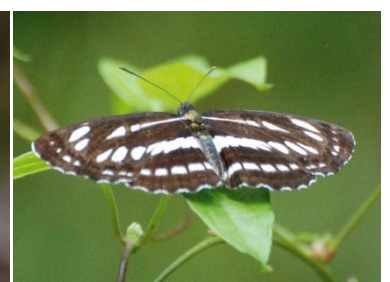
キチョウ



スジグロシロチョウ



ツマキチョウ



コムスジ

### 葉っぱのゆりかごを作るオトシブミ

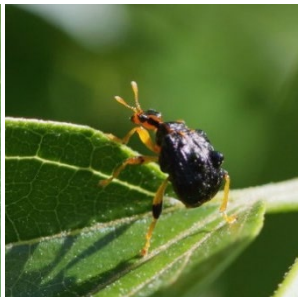
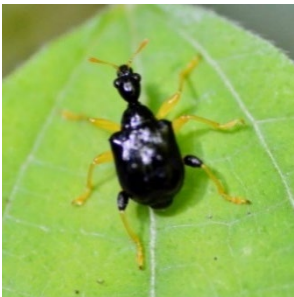
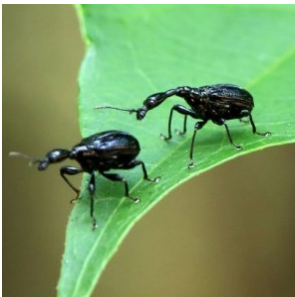
オトシブミの仲間は葉に卵を産み付けたあと、上手に葉を巻いて「ゆりかご」を作ります。羽化した幼虫は内側から葉を食べて成長します。ゆりかごはオトシブミの種類によって作り方や使う植物が異なり、多様です。



エゴノキに作られたオトシブミのゆりかご



ゆりかごを作るオトシブミ



エゴツルクビオトシブミ ヒメクロオトシブミ ゴマダラオトシブミ カシルリオトシブミ ヒメゴマダラオトシブミ

**春の花たち** ビジターセンター周辺で、春から初夏にかけて見られる花を紹介します。



フデリンドウ



ヒメシャガ



チゴユリ



ホタルブクロ



ノダフジ



アケビ



ムベ



サルナシ



ジャケツイバラ



ノイバラ



ウツギ



タニウツギ



コアジサイ



イワガラミ



ムラサキシキブ

**様々なカエル** 国定公園のカエルたちは、姿も鳴き声も生活も多様です。モリアオガエルは、池などの水面に張り出した木の枝に、泡に包まれた卵を生みます、オタマジャクシになると落下してそのまま水中生活を始めます。



モリアオガエルの産卵とオタマジャクシ



カジカガエル



ヒキガエル



ニホンアマガエル



タゴガエル

**オオサンショウウオ**

「生きた化石」ともいわれている世界最大の両生類で、国の特別天然記念物に指定されています。箕面に生息しているオオサンショウウオは純国産種ですが、他の河川には中国産や交雑種が生息している場合があります。

見つけても、さわらずに、そっと見守るだけにしてください。



**雨の日の楽しみ**

雨の日に活発に活動する生き物がいます。オオケマイマイやキセルガイは、石の隙間など探してみましょ。陸に住む貝の仲間の他に、溪流にすむサワガニたちも見ることができるでしょう。



オオケマイマイ



ナミマイマイ



キセルガイの仲間



サワガニ

**国定公園で見られるホタル**

ホタルは光を使ってコミュニケーションします。成虫の発光は交尾のためとされていますが、幼虫期のみ発光する種類もあり、発光の理由が明らかになっていないものもあります。



ヒメボタル



ゲンジボタル



クロマドボタル



幼虫(写真左)の間だけ発光する

NPO法人みのお山麓保全委員会 Tel/Fax:072(724)3615 HP: <http://yama-nami.net/> (検索:山なみネット)

Meiji-no-mori Minoh Quasi-National Park